



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社駒井ハルテック
コード番号 5915 URL <http://www.komaihaltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中村 責任

TEL 03-3833-5101

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	32,649	△12.9	1,533	—	1,526	—	2,293	—
22年3月期第3四半期	37,469	△0.8	134	—	28	—	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	57.86	—
22年3月期第3四半期	△0.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	57,583	29,377	51.0	592.79
22年3月期	47,946	25,167	52.5	711.01

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 29,377百万円 22年3月期 25,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	9.0	1,100	58.5	1,000	76.3	2,160	331.3	43.56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 49,727,091株 22年3月期 36,432,711株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 168,892株 22年3月期 1,036,246株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 39,645,448株 22年3月期3Q 35,398,206株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く橋梁・鉄骨業界は、橋梁は、公共投資の見直しが続き、新設橋梁の発注量は前年同期を下回る状況のなかで受注競争は一層熾烈さを増しております。一方、鉄骨は、首都圏の大型物件に一部動きが見られたものの、特に地方都市圏においての設備投資等は回復に至らず、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当社は株式会社ハルテックと平成22年10月1日をもって合併し、商号を株式会社駒井ハルテックとして新たにスタートいたしました。合併後の当第3四半期連結累計期間の受注高は、株式会社ハルテックから引継いだ平成22年9月末の受注残高166億6千6百万円を加え、総額377億6千3百万円（前年同四半期比69.7%増）となりました。売上高は、326億4千9百万円（同12.9%減）となり、損益は、大型橋梁工事の追加変更等による利益計上が寄与し営業利益15億3千3百万円（前年同四半期は1億3千4百万円の利益）、経常利益15億2千6百万円（同2千8百万円の利益）となりました。また特別利益に「負ののれん発生益」47億8千9百万円、特別損失に「減損損失」39億7千4百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は22億9千3百万円（同2千7百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

－ 橋梁事業 －

当第3四半期連結累計期間の受注高は、国土交通省関東地方整備局・根岸地区高架橋架設工事、千葉県・渡河橋下り線他の工事に株式会社ハルテックから引継いだ平成22年9月末の受注残高166億6千6百万円を加え209億7千1百万円となりました。

完成工事高は、国土交通省関東地方整備局・根岸地区高架橋製作工事、国土交通省中国地方整備局・大谷東高架橋他の工事で109億3千2百万円となり、これにより受注残高は204億8千3百万円となっております。

－ 鉄骨事業 －

当第3四半期連結累計期間の受注高は、関電不動産株式会社新赤坂センタービル(仮称)建築工事、中之島ダイビル・ウエスト(仮称)新築工事他の工事で167億9千2百万円となりました。

完成工事高は、(仮称)目黒雅叙園増改築計画、(仮称)浜離宮インターシティ新築工事他の工事で212億6千1百万円となり、これにより受注残高は167億2千8百万円となっております。

－ その他 －

当社は、大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による有効活用を行っております。また、連結子会社において印刷事業等を行っております。当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は4億5千6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

平成22年10月1日付で株式会社ハルテックと合併したことで、当第3四半期連結会計期間より同社の資産、負債を受入れております。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より96億3千7百万円増加し575億8千3百万円となりました。なお、合併による増加額は118億9千8百万円であります。

資産の部では、受取手形・完成工事未収入金が38億4千万円、未収入金が37億1千6百万円増加したことなどにより流動資産が92億7千3百万円増加し351億1千9百万円となりました。なお、合併による増加額は64億3千6百万円であります。固定資産は、合併による増加額54億6千1百万円がありましたが、減損損失39億7千4百万円を計上したことなどにより、3億6千3百万円増加し224億6千4百万円となりました。

負債の部では、支払手形・工事未払金が65億8千8百万円増加、短期借入金が15億5千万円減少したことなどにより流動負債が50億5千5百万円増加し212億3千7百万円となりました。固定負債は69億6千8百万円となり、負債合計は282億6百万円となりました。なお、合併による増加額は流動負債37億8千万円、固定負債10億4千7百万円であります。

純資産の部では、合併により資本剰余金が19億5千9百万円、利益剰余金が20億7千1百万円増加したことなどにより純資産は42億1千万円増加し293億7千7百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、昨今の事業環境が非常に厳しい状況であり、不確定要素が多いことなどを勘案して、平成22年11月12日に公表いたしました業績予想は変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

(連結範囲の変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社シップスは、重要性が増したことにより当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰り延べております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる影響は軽微であります。

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,201	4,433
受取手形・完成工事未収入金	19,886	16,045
未成工事支出金等	1,068	641
未収入金	7,576	—
その他	1,399	4,735
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	35,119	25,846
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	6,357	4,995
機械・運搬具（純額）	1,364	1,228
土地	10,740	12,689
その他（純額）	332	151
有形固定資産計	18,795	19,065
無形固定資産	97	56
投資その他の資産		
投資有価証券	3,098	2,544
その他	571	442
貸倒引当金	△99	△8
投資その他の資産計	3,570	2,978
固定資産合計	22,464	22,100
資産合計	57,583	47,946

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	14,373	7,784
短期借入金	4,453	6,003
1年内償還予定の社債	160	—
未成工事受入金	503	1,058
工事損失引当金	385	250
引当金	123	127
その他	1,239	957
流動負債合計	21,237	16,182
固定負債		
社債	640	—
長期借入金	2,687	3,298
繰延税金負債	1,333	2,036
退職給付引当金	1,908	1,032
引当金	16	11
その他	383	218
固定負債合計	6,968	6,597
負債合計	28,206	22,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	8,233	6,273
利益剰余金	13,959	11,888
自己株式	△43	△293
株主資本合計	28,769	24,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	608	672
為替換算調整勘定	—	5
評価・換算差額等合計	608	677
純資産合計	29,377	25,167
負債純資産合計	57,583	47,946

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
完成工事高	37,469	32,649
完成工事原価	35,664	29,044
完成工事総利益	1,804	3,605
販売費及び一般管理費	1,670	2,072
営業利益	134	1,533
営業外収益		
受取配当金	34	52
受取家賃	24	29
材料屑売却益	39	39
雑収入	14	11
営業外収益合計	112	132
営業外費用		
支払利息	142	101
社債発行費	—	18
支払手数料	69	9
雑支出	5	10
営業外費用合計	217	139
経常利益	28	1,526
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	—
負ののれん発生益	—	4,789
その他	0	35
特別利益合計	7	4,824
特別損失		
固定資産除売却損	10	26
減損損失	—	3,974
その他	2	9
特別損失合計	13	4,011
税金等調整前四半期純利益	22	2,339
法人税、住民税及び事業税	18	20
法人税等調整額	31	25
法人税等合計	50	45
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,293
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27	2,293

【第3四半期連結会計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期連結会計期間 （自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）
完成工事高	16,173	14,405
完成工事原価	15,329	12,357
完成工事総利益	843	2,047
販売費及び一般管理費	548	819
営業利益	294	1,228
営業外収益		
受取配当金	14	30
受取家賃	7	11
材料屑売却益	14	16
雑収入	6	4
営業外収益合計	44	62
営業外費用		
支払利息	49	32
社債発行費	—	18
雑支出	1	5
営業外費用合計	50	56
経常利益	288	1,234
特別利益		
固定資産売却益	0	—
負ののれん発生益	—	4,789
その他	—	14
特別利益合計	0	4,804
特別損失		
固定資産除売却損	1	21
減損損失	—	3,974
その他	0	0
特別損失合計	2	3,996
税金等調整前四半期純利益	286	2,041
法人税、住民税及び事業税	5	9
法人税等調整額	40	△22
法人税等合計	46	△12
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,053
四半期純利益	239	2,053

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年10月1日付けで、株式会社ハルテックと合併しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,959百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,233百万円となっております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

1. 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（百万円未満切捨て）

項目	前第3四半期 連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）		当第3四半期 連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）		前連結会計年度 （自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁事業	4,034	18.1	20,971	55.5	7,642	21.2
	鉄骨事業	18,216	81.9	16,792	44.5	28,414	78.8
	合計	22,251	100.0	37,763	100.0	36,057	100.0

項目	前第3四半期 連結累計期間 （平成21年12月31日現在）		当第3四半期 連結累計期間 （平成22年12月31日現在）		前連結会計年度 （平成22年3月31日現在）		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁事業	9,829	36.9	20,483	55.0	10,444	33.0
	鉄骨事業	16,778	63.1	16,728	45.0	21,197	67.0
	合計	26,607	100.0	37,212	100.0	31,642	100.0

- （注）1 当第3四半期連結累計期間の橋梁事業の受注高には、株式会社ハルテックから引継いだ平成22年9月末の受注残高16,666百万円が含まれております。
- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（百万円未満切捨て）

項目	前第3四半期 連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）		当第3四半期 連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）		前連結会計年度 （自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業	9,040	24.1	10,932	33.5	12,033	26.0
鉄骨事業	28,178	75.2	21,261	65.1	33,957	73.3
その他	249	0.7	456	1.4	332	0.7
合計	37,469	100.0	32,649	100.0	46,323	100.0

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。